

# 主体的・対話的で深い学びへとつながる、授業で行う探究活動の指導法の研究及びその評価について ～令和7年度東京都生物教育研究会活動について～

## I 東京都生物教育研究会

**団体の概要** 東京都の高等学校の教員を中心に、865名の会員からなり、生物教育の充実を図るとともに、教員相互の情報交換を密にするため、支部・総務部・編集部・研究部・委員会に組織を分担し、活動している。総会と教職員研修センターとの連携研修を年に1回、研究部の研修会を毎月1回、各支部の研修会を年に2回、教材開発委員会・生態学教育委員会・海洋生物研究委員会・教育課程委員会・社会連携委員会の各委員会主催の研修会を年に2回程実施しており、活動記録は都生研会誌として発行している。また、毎年日本生物教育会や日本生物教育学会等における全国大会での発表を行うとともに、全国の生物教育研究会との連携も定期的に行い、日本の生物教育の向上を目指して活動している。

**研究の目的** 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、理科の見方・考え方を働かせた探究活動の指導力、多様な校種及び生徒の実態に合わせた展開・汎用力を向上させる。また、その評価について研究する。

**研究の内容** 教材開発、フィールド調査、実験講習、研究協議会等、年間20回以上の研修会企画、大学や国立科学博物館などの研究機関との連携による教材開発、高大連携研修、及び最新研究講演会の開催を通して、教員の指導力向上につなげる。

**研究の方法** 研修会実施後に参加アンケート、研修評価及び協力いただだけの方の研修後の追跡調査を行った。

## II 団体の取組み

<総会> 7月5日(土) 14:00-18:00 令和7年度東京都生物教育研究会総会

<1・2支部>

6月26日(木) 16:30-19:30 支部総会および生物基礎の実験・観察方法に関する研究協議会  
12月27日(土) 13:00-17:00 「さまざまなタンパク質を学ぶ SDS-PAGE 実験」研究協議会  
2月8日(日) 13:00-17:00 生物部交流会

<3・4支部>

6月28日(土) 8:30-12:30 支部総会「生物の動画を用いた教材開発」の研修会  
2月22日(日) 12:00-16:00 野鳥観察会・研究協議会など

<5・6支部> 4月26日(土) 13:00-17:00 研究協議会

6月17日(火) 16:00-17:00 支部総会および生態系分野に関する研究協議会  
10月4日(土) 10:30-14:30 「眼のしくみを調べる実験」に関する授業公開・研究協議会

<多摩支部> 4月20日(日) 09:40-15:30 令和7年度都生研多摩支部 研究協議

5月17日(土) 13:00-17:00 支部総会 兼 教材交換および研究協議会  
10月26日(日) 9:00-13:00 「都心でも観察できる野鳥観察のコツ」研究協議  
12月20日(土) 13:30~20:00 「高尾山でのシダ・ムササビ観察 座布団が飛んだ日」  
1月18日(日) 9:30-15:00 多摩支部主催「冬の多摩川中流域の野鳥観察と研究協議会」

<研究部>

7月19日(土) 12:30-16:30 日本霊長類学会共催  
「古代ゲノム解析で急速に明らかになった人類進化史」  
10月19日(土) 8:30-17:00 「玉川上水の生態系とその保全」研究協議  
3月29、30日西表生態調査宿泊研修会

・勉強会

4月3日(木) 8:30-17:00 第1回「高尾山での春の野花観察」研究協議会  
5月22日(木) 15:00-17:00 第2回「電子顕微鏡で生物観察および教材作成」研究協議会  
5月30日(金) 16:30-19:00 第3回「ブタの内臓一式の観察」研究協議会  
6月13日(金) 16:30-19:00 第4回「カイコ幼虫の観察」研究協議会・教材配布会  
6月20日(金) 16:30-19:00 第5回「雑木林の授業への活用および考査問題」研究協議会など

・海洋生物研究委員会

4月29日(火) 9:00-13:00 「磯の生物観察会」についての研究協議会  
6月15日(日) 11:30-15:30 「干潟の生物観察会」など

・生態学教育研究委員会

7月29日(火) 15:00-17:30  
「野生動物保全の悩ましい現実 ～増えて困っているのに増やしている～」研究協議  
9月26日(金) 16:30-20:30 「遺伝的浮動の実験を題材とした進化に関する研究協議会」

・教育課程委員会 次期学習指導要領改訂に向けた研究協議 7回開催

11月30日(日) 13:00-17:00 「次期学習指導要領にむけた提言に関するシンポジウム」  
日本生物教育会共催

<研究発表会> 12月6日(土) 13:00-17:00 令和7年度東京都生物教育研究会・東京都理化教育研究会  
共催研究発表会

<連携研修> 7月2日(水) 13:30-16:30 令和7年度専門性向上研修理科【1】

### Ⅲ 実践事例

○都生研研修会 令和7年度は、観察・実験手技の実践練習及び評価方法 についてなど研究協議を計45回し、350名以上参加した。特に今年度は次期学習指導要領に向けての文部科学省理科ワーキンググループが動き始めたため、東京都生物教育研究会は日本生物教育会の提言まとめに向け、全国の生物教諭の研究会団体と研究協議を重ねている。

○連携研修専門性向上研修理科 I ICTを用いた授業実践、および効果的な使用方法を考え授業デザインの基礎・基本を身に付けることをねらいとした研修会を開催した。東京理科大学武村政春教授により、ウィルスの最新研究内容、および系統の分析に用いるMEGAを紹介いただき、模擬授業形式で実際にアプリを操作しながら、教材としての活用を模索した。また都立小石川中等教育学校の佐野寛子主任教諭による授業実践発表により、アミノ酸配列からタンパク質立体構造を予測できるHPや、生徒の意見を回収と同意にビジュアル化してその場でフィードしたり、生徒の協働作業を促す授業デザインの紹介も、模擬授業形式であった。参加者同士で話し合いをしながら、研究協議を行った。



### Ⅳ 研究の成果と課題

○連携研修の成果 アンケートの結果は図のとおりである。

○研究発表会の成果 参加者アンケートの結果「研修により理解が深まった」深まった94%、やや深まった6%、「研修の成果を活かそうと思っている」思っている75%、やや思う25%、「難易度」難しい6%、やや難しい25%、丁度よい69%であった。

概ね研修のねらいどおりであった。

○課題 若手教諭にも取りかかりやすい教材、授業デザイン等の授業実践発表や、実験講習会を開催し、今後も教員育成に貢献する。

2 研修受講者アンケート（10段階評価、中間点：6）



参考：令和7年度に専門教育向上課が実施した全研修の平均値  
満足度8.6 理解度8.4 研修形態8.5 成果の活用8.5

#### ＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都生物教育研究会
代表者	所属	東京都立三田高等学校
	職氏名	校長 内田 隆志
	連絡先	03-3453-1991
事務局	所属	東京都立小石川中等教育学校
	職氏名	主任教諭 佐野 寛子
	連絡先	03-3946-7171
団体ホームページ	URL	二次元コード
		<a href="https://toseiken.jimdofree.com/">https://toseiken.jimdofree.com/</a>